



# 鳳仙寺先住忌法要が 厳修されました



鳳仙寺先住忌法要

桐生山鳳仙寺三十三世  
柳原山源英寺 十九世  
百丈不味大和尚  
五十回忌  
桐生山鳳仙寺三十四世  
大慈山光明寺三十世  
百仙良榮大和尚  
十三回忌

六月十七日(木)、鳳仙寺第三十三世・百丈不味大和尚(坪井 不味)五十回忌、並びに鳳仙寺第三十三世・百仙良榮大和尚(坪井 良榮)十三回忌の法要が本堂にて厳修されました。法要の導師として鳳仙寺の本寺であります茨城県竜ヶ崎市・金竜寺住職・渡辺 弘道 大方便にお勤めいただきました。また、親類、鳳仙寺総代役員、梅花講員、梅人會、教区ご寺院様にご列席、ご焼香をいただき素晴らしい法要となりました。

また同日に、故坪井良榮住職の寺族の故坪井美子の十三回忌も併修いたしました。多くの方々の焼香誠にありがとうございました。

発行  
桐生山鳳仙寺  
桐生市梅田町一丁目五八  
電話(077)311-1177  
E-mail info@hosenji.or.jp

## 桐生仏教会百周年記念誌

### 「桐生のお寺」について



平成22年の今年桐生仏教会は創立百周年を迎えました。それに併せて桐生仏教会記念誌編集委員会では、桐生のお寺を紹介した記念誌を発行いたしました。記念誌編集委員会には、副住職も参加しております。今回はお盆に併せて同封させていただきますので、ぜひご覧ください。

## 秋葉三尺坊大祭のご案内

毎年、秋葉大祭で無事に今年を過ごしたえたお札と来年の安全を願う大祈禱会を厳修されますのでご希望の方は申込みいただき、御参加をお待ち申し上げます。

法要の前に、今回は、東鴨とげぬき地藏でお馴染みの高岩寺住職 来馬老師のご法話を予定しております。

- 日時 10月16日(土) 午前11時より
- 場所 鳳仙寺 本堂
- テーマ「おばあちゃん」

### 秋葉三尺坊のいわれ

千三百年前、信州に出現せられた、秋葉三尺坊大権現様は、観音大士のご化身といわれ七難八苦の中で特に恐るべき火難を救うべく即ち、身火、心火の火災除の大願を成就し一心を以て我を信ずれば、もろもろの心願必ず成就すと宣せられあまねく天下の衆生を済度せられていきます。

人間にとって火ほど有り難いものではなく実に大切な火であります。万一ふとした過ちがあると家財、家宝を一瞬にして焼つくす恐ろしい火となります。

ここに秋葉三尺坊大権現の大願があり、一切の苦しみから救って下さる誓願があります。

【法話講師紹介】  
来馬 明規(くるま めいき)  
東京都豊島区東鴨とげぬき地藏尊・高岩寺住職  
昭和62年日本医大卒、医学博士、内科・循環器専門医  
日本禁煙学会評議員

第一に我を信ずれば、生業と心願と一切の満足を与う  
第二に我を信ずれば、病苦と災難と一切の苦患を救う  
第三に我を信ずれば、失火と延焼と一切の火難を逃す

## 家族葬ってなあに

### 「家族葬」とは。

最近、「家族葬」という葬儀のかたちを良く耳にします。家族葬とは、故人とお別れの時間を大切にすること、家族のみで行うお葬式のことを言います。一般のお葬式と大きく異なるのは、友人や知人、ご近所の方々に声をかけずに、家族や親戚など故人と親しかった方だけに来ていただく形をとっているようです。そのため、お葬式の規模は小さくなることが多いようです。葬式の仏事に關しては、一般のお葬式と変わるところはありません。

家族葬のいいところは、故人とお別れの時間をじっくりと過ごせることです。また、気のおける近親者だけの葬式で、ご近所や他人の目を気にせずに行うことができ、気持ちよく行うことができます。一般の葬式では、多くの方々が参列するため、遺族は気がつかないままに疲れてしまうことが多いです。故人との時間を気兼ねなく持て、遺族の負担を軽減できる点は家族葬の良い点です。また、お葬式の費用に關してもある程度は軽減することもできるようです。家族葬のわるいところ(デメリット)として注意

が必要になります。

① 葬儀が終わってから、後から亡くなった事を聞きつけた知人が、週末のたびに後悔やみを述べるために自宅を訪れてくる為、その対応が大変である。

② 呼ばれていない親族や知人から「なんで声をかけてくれなかったんだ」と不満を言ってくる。

③ 参列者を呼ばない予定であったが、式の日程をどこからともなく聞いて来た人がいて予定が変わってきってしまう。

④ 予算の都合を優先して考えて、家族葬を選択すると葬儀の負担がかえって高くつくことがある。お葬式は、参列者が多ければ香典も増えるので、お葬式費用が充分かなくなる場所ですが、家族葬は家族のみで行うため、遺族が葬儀費用の多くを負担することになります。

### 家族葬のいいところ、わるいところ



### 坐禅と朝粥の云

毎月一日(正月を除く)朝七時より八時半まで坐禅と朝粥の会を行っています。(会費無料)

お葬式は、家族のお別れの場であるとともに、故人と生前に様々な場面で係わった人々とのお別れの場でもあります。そうした方々にも十分な配慮のもとでお葬式を進めていくことが大切です。詳しくは、お寺や葬儀社さんにご相談ください。

# 鳳仙寺護持会 会計報告

寺報を利用して報告させていただきます。護持会費(鳳仙寺檀家の会費)は年額、一口三千円となっており、院号戒名の付いている家は、二口以上のお願いとなっております。

二十二年年度の護持会費は、四月から八月のお盆までの間に役員さんに願ひし、市外の方は郵便振替にて集めております。未だの方はお盆期間中に本堂で受付しておりますので宜しくお願い致します。墓地掃除代も集金させていただきます。

〔平成21年度・鳳仙寺護持会・会計報告書〕  
平成21年4月1日～平成22年3月31日

収入の部		支出の部	
前年度繰越金	10,189,507	本山宗費	1,333,100
H21年度護持会費	3,153,000	下水道保守管理費	22,800
銀行利息入金	4,415	郵便局払込手数料	47,060
		銀行手数料	315
		教区新年会費	30,000
		火災保険共済掛け金	41,160
		常磐殿・火災保険料	331,500
		H21年度婦人会補助金	50,000
小計	13,346,922	小計	1,855,935
		次年度繰り越し残高	11,490,987
合計	13,346,922	合計	13,346,922

(繰越内訳・普通預金 11,490,987円)

平成22年4月29日 上記の通りご報告申し上げます。  
鳳仙寺・護持会 総代 石原 竹雄  
会計 池田伊佐男

## 曹洞宗群馬県第八教区主催 平成22年度 研修旅行



- 日 程：平成22年10月18日(月)～10月20日(水)2泊3日
- ご旅行費：お一人様 56,000円(含 御誕生寺・永平寺志納金)
- 募集人員：120名(定員になり次第締切ります。)
- 申込方法：曹洞宗群馬県第八教区(菩提寺)に申込金¥10,000を添えてお申込み下さい。
- 旅行取扱：桐生交通ツーリストサービス(TEL.0277-76-8685)  
〒379-2311 みどり市笠懸町阿左美2683-19 担当/土岐和雄

**11月26日(休)**  
5:00 桐生==長野==岡谷JCT==中央道==小牧==名神==大津IC==比叡山ドライブウェイ==  
13:00~15:00 16:30  
=====比叡山延暦寺国宝根本中堂(昼食・参拝)=====琵琶湖グランドホテル 東館

**11月27日(金)**  
9:00 13:00~14:00  
琵琶湖グランドホテル=====長浜(大通寺・黒壁ガラス館)=====越前武生(昼食)=====  
14:20~15:20 16:20  
=====御誕生寺(ご法話予定)=====加賀IC=====山代温泉 瑠璃光

**10月20日(水)**  
8:50 11:30~13:30  
山代温泉=①加賀藩②日本海水産③九谷満月=大本山永平寺(参拝・昼食)=福井北IC=北陸道=  
(お買い物) (何ヶ所か休憩)  
=黒部IC=源ますのすし黒部店=黒部IC=親不知=長野=更埴JCT=====上信越道=====横川SA=  
20:00  
=高崎JCT==北関東道=敷塚IC=桐生



【涅槃会・二月十五日】  
二月十五日(月)、本堂に於いて婦人会と写経の会との合同で毎年恒例の「涅槃会・写経の会」が開催されました。涅槃会(ねはんえ)はお釈迦様がインドのクシナガラで荼毘に伏したことを忍び行う法要であります。涅槃会法要を行った後に、

お話を聞き、写経を行いました。最後に、涅槃団子を入れたおしるこをいただきました。  
【降誕会・四月八日】  
四月八日(木)、本堂に於いて婦人会主催の降誕会(こうたんえ)が開催されました。これは、お釈迦様の誕生をお祝いする法要で、花まつりとも



呼ばれています。法要の後、副住職による「般若心経のはなし」がありました。般若心経が出来るまで、般若心経の教えることなどを中心にお話がありました。その後、レクリエーションでは、様々な踊りを楽しみました。

### 婦人会だより

第9回写経の会開催のご案内です。今回はお彼岸の最終日(彼岸明け)に行います。お墓参りも兼ねて本堂での写経はいかがですか。  
日常の喧噪を離れ、静かなお寺で心落ち着くひとときを過ごしましょう。  
日 時：平成二十二年 九月二十六日(日) 十三時より  
参加費：千円

持参品：小筆(または、筆ペンでも可)・ブランチン  
※写経用紙(半紙)、手本、簡易硯、墨汁は用意いたします。  
スケジュール  
十三時～ 受付  
十三時十五分～ 看経・瞑想  
十三時二十五分～ 写経  
十四時四十五分～ 読経  
十五時頃 解散  
※締め切りは 九月二十四日(金)まで

※参加ご希望の方は、電話かFAXにてお申し込みください。  
◆お申し込み・お問い合わせは…お寺まで  
電話 三二一-一七七  
FAX 四〇一-六〇〇〇



### 鳳仙寺「写経の会」

第七回 鳳仙寺 おばけ奇席



◆電話予約で 当日精算OKです  
販売・予約 藤江医院・鳳仙寺  
よろづ圓・その他  
きつぷ販売予約 おばけ奇席事務局  
0277-7311111  
0277-7311111  
・九月四日(土)  
・開場 午後五時  
・開演 午後五時半  
・当日 三,000円  
・前売り 一,500円  
おばけ奇席  
出演 春風亭鹿の子  
落語 瀧山 鯉昇  
講談 神田 愛山  
会場 鳳仙寺 本堂  
桐生市梅田町一丁目五八  
0277-7311111  
日時

御詠歌だより  
鳳仙寺梅花講では、一緒に御詠歌を唱える講師を募集しております。  
・毎月第二・第四木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺常磐殿  
・毎月第一・第三木曜日 午後一時から三時まで 於 鳳仙寺書院  
鳳の会地歌舞(じうたまい)  
練習は、毎月二回地歌舞のおけいこをしております。詳しい日程についてはお問合せください。